

11月13日(月)

神様の御心

聖書朗読 Iテサロニケ 5:1~18

いつも喜んでいなさい、絶えず祈りなさい。すべての事について、感謝しなさい。
これが、キリスト・イエスにあって神があなたがたに望んでおられることです。

Iテサロニケ 5:16~18

多くの人々が「神様、私に対するあなたの御心・ご計画を教えてください」と尋ねたいと思っているのではないのでしょうか。もし私たちが神様を信じ、従うのなら、神様は優しく私たちを御心へと導いて下さいます。本日の聖書朗読の箇所では3つの具体的な行動が挙げられており、『これが、キリスト・イエスにあって神があなたがたに望んでおられることです』と明言されています。

一つ目に『いつも喜んでいなさい』とあります。言うのは簡単ですが、これを実践することは中々難しいのではないのでしょうか？ しかし、私たちは日々の生活の中に喜びを見出そうとする努力も必要だと思います。物事を考える際には、必要以上に悲観的に考えるよりも、物事の喜ばしい面を探してみましょう。「喜ぶ」という態度を意識的に選びましょう。

二つ目に『絶えず祈りなさい』とあります。この箇所は、しばしば議論になる箇所です。と言うのも、「絶えず祈ることは不可能ではないか」と一見思われがちだからです。しかし、いつでも常に祈れるよう、祈りの習慣を身に付ける努力をすることは出来るのではないのでしょうか。そうすれば、人生の危機が訪れた時でも自然に祈ることが出来ます。

三つ目に『すべての事について、感謝しなさい』とあります。これも、難しいように思われるかもしれませんが。しかし、次の聖句を思い起こしましょう。『神を愛する人々、すなわち、神のご計画に従って召された人々のためには、神がすべてのことを働かせて益ととしてくださることを、私たちは知っています』(ローマ8:28)。この約束があるからこそ、私たちはどんな状況でも感謝の心を持つことが出来るのです。

以上を纏めると、神様の御心とは、日々の生活に喜びを見出し、祈りを通していつも神様との繋がりを保ち、感謝の心を持って生きることではないのでしょうか。

讃美歌 354

祈り 神様、つい不満を口にしてしまう時もありますが、あなたは私たちに対する最善の御心をお持ちですから、ありがとうございます。あなたの御心を行動に移せるような勇気と人格を持つ者へと私を変えて下さい。私たちの弱さをお赦し下さい。

イエス様の御名を通してお祈り致します。アーメン。

ビル・ヘネガー

カリフォルニア州 ウエストレーク・ヴィレッジ

今日の日

2017年11月13日~11月19日

翻訳 伊藤若菜

編集 相川忠義

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

11月14日(火)

信 頼 し ま す か ？

聖書朗読 Iテモテ 1:12~17

私は、私を強くしてくださる私たちの主キリスト・イエスに感謝をささげています。なぜなら、キリストは私のこの務めに任命して、私を忠実な者と認めてくださったからです。 Iテモテ 1:12

私の娘が初めて自転車に乗った時、その自転車は補助輪付きでした。娘は補助輪を外して欲しいと思っていました。しかし、私たちは娘が補助輪無しで安全に自転車に乗れるか、確信がありませんでした。このような心配の気持ちは、娘が初めて学校へ行く日、初めて娘一人で車を運転する日、そして初めて彼女がデートへ行く日にも同じように感じました。娘はもう一人前だと信頼してもよいのか、心配しました。

神様は、私たちが罪を犯しがちであることをよくご存知です。しかし、私たちが信頼して下さり、『認めて下さった』(12節)とあります。かつてのパウロも13節にあるように『神をけがす者、迫害する者、暴力をふるう者』でありましたが、神様からの『あわれみを受けた』のであります。同様に、私たちも神様からの『あわれみを受け』ているのです。

このように慈しみ深い神様に対して、私たちはどう応答すべきでしょうか。神様の慈しみ・恵みは尽きることなく私たちに注がれ、私たちは永遠のいのちまで頂いているのです。この恵みに、私たちはどう応答すべきでしょうか。礼拝を大切にすること、ということも出来るでしょう。でも他にもあります。それは、神様が私たちに『認めて下さった』ように、私たちも神様を受け入れ、そして神様を全面的に信頼する信仰をもって歩む、ということも大切ではないでしょうか。

まもなく90歳になる、病のおじいさんを訪問する機会が最近ありました。「もう長くはない」と彼は言われていたので、死が差し迫っていることについてどう思っているのか聞いてみました。おじいさんはこう言いました。「神様の恵みによって救われている、ということが何よりだよ」。そして15節の聖句を口にされました。『「キリスト・イエスは、罪人を救うためにこの世に来られた」ということばは、まことであり、そのまま受け入れるに値するものです』。こうしてこのおじいさんは、神さまへの全き信頼の姿勢を私に示して下さいました。私たちも、彼のように神さまの恵みに応答したいものです。

讃美歌 525

祈り 御名を賛美します。『誠実を尽くしている私を強くささえ、いつまでも、あなたの御顔の前に立たせてください。』(詩篇41:12)

イエス様の御名を通して祈り致します。アーメン。

ボブ・メイズ

テキサス州 ラボック

11月15日(水)

そんなこと考えたくもありません！

聖書朗読 ヘブル 10:11~14

その翌日、ヨハネは自分のほうにイエスが来られるのを見て言った。「見よ、世の罪を取り除く神の子羊。」 ヨハネ 1:29

ある母親が食料品店へ行行って調理済みの焼肉を家族の晩御飯のために買いました。その肉はラップで包まれた小さいパッケージで、政府認証のスタンプが押してありました。母親と息子は帰り道、ファーストフード店に立ち寄り、ハンバーガーも買いました。そのハンバーガーは小さい箱に入っていて、その箱にはアニメに登場するかわいらしい動物の絵が描かれていました。普段あまり考えることは無いかもしれませんが、実は、そうした動物たちを私たちは食糧として食べているのです。

古代イスラエルでは動物を犠牲として捧げることはよくあることでした。それは、神様への礼拝の一部だったのです。そして、食事の準備のために動物をほふることも慣れていました。今日、私たちが動物をいけにえとして捧げたいとは思いません。私たちが殆どは、精肉がどのように生産されるのか、あまり考えたくないと思います。きれいに加工された状態しか見たくありません。生々しいほふり場の様子など考えたくありません。

しかし、イエス様は「神の子羊」であり、私たちの罪のために犠牲になって下さいました。犠牲になると言うことは、大きな痛みを伴います。この事実には私たちがきちんと目を向けるべきです。もしも、私たちがイエス様の犠牲に感謝しないのであれば、神様の深い愛に気が付くことはないでしょう。深い愛により、ひとり子であるイエス様を私たちの救いのために犠牲にして下さった神様とは、何と恵み深いお方でしょう。

この神様の深い愛をしっかりと受け止め、御心に叶う日々を歩んで参りましょう。

讃美歌 332

祈り 神様、あなたの深い愛をより一層理解出来るよう、助けて下さい。

イエス様の御名を通して祈り致します。アーメン。

ケヴィン・B・レイチェル

テネシー州 ナッシュビル

11月16日 (木)

「元気です」とは言ったものの・・・

聖書朗読 ヤコブ 1:1~18

あなたがたの会った試練はみな人の知らないものではありません。神は真実な方ですから、あなたがたを、耐えられないほどの試練に合わせることはなさいません。むしろ、耐えられるように、試練とともに脱出の道も備えてくださいます。

I コリント 10:13

日々の生活の中で「お元気ですか？」と挨拶する機会が多々あると思います。社交辞令的には、「はい、元気です」とお返事するのが普通だと言えましょう。私が化学療法を受けていた時、「お元気ですか？」と聞かれて「元気です」と答えるのは難しいことでした。しかし、自分の状況について詳しい説明をするのも、挨拶をしてくれた人に何だか申し訳ない気がしましたので、「頑張っているところ」と答えていました。私たちは、何かに耐えなくてはならない状況(試練)を肯定的に考えることはあまり無いかも知れません。しかし、聖書は必ずしもそうではありません。II コリント 1:6には『もし私たちが苦しみに会うなら、それはあなたがたの慰めと救いのためです。もし私たちが慰めを受けるなら、それもあなたがたの慰めのためで、その慰めは、私たちが受けている苦難と同じ苦難に耐え抜く力をあなたがたに与えるのです』と書かれています。

耐え忍ぶという経験を通して、私たちは神様に似る者へと変えられていきます。つまり、私たちには試練が与えられる時がありますが、試練を通して私たちは苦しい思いをするだけでなく、私たちは神に似る者へと成長するという大切な経験もします。患難は忍耐を生み出し、忍耐が練られた品性を生み出し、練られた品性が希望を生み出し、この希望は失望に終わることがないのです(参照:ローマ5:3~5)。順風満帆の時が素晴らしい時であることは言うまでもありませんが、試練の時もそこには祝福があるということをぜひ覚えましょう。

精神的な忍耐力が与えられますように ただじつと耐え忍ぶのではなく、
決して敗北することのない神を信じ 前進して行く忍耐力が与えられますように
——— オズワルド・チェンバース

讃美歌 270

祈り 親愛なる神様、大丈夫ではないと思う時にも、あなたに信頼し、耐え忍ぶ力を与えて下さい。また、あなたに従うなら、そこに望みがあることを思い起こさせて下さい。

イエス様の御名を通して祈り致します。アーメン。

スーザン・K・ギボニー

カリフォルニア州 マリブ

11月17日 (金)

見かけに騙されてはいけません

聖書朗読 Iペテロ 2:1~10

ですから、あなたがたは、すべての悪意、すべてのごまかし、いろいろな偽善やねたみ、すべての悪口をすてて、生まれたばかりの乳飲み子のように、純粋な、みことばの乳を慕い求めなさい。それによって成長し、救いを得るためです。あなたがたはすでに、主がいつくしみ深い方であることを味わっているのです。

Iペテロ 2:1~3

私の息子ダニエルは、まだ小さかった頃からソフトドリンクが大好きです。普通のソフトドリンクであろうがダイエット版のソフトドリンクであろうが、彼は大好きでした。私か妻かどちらかがソフトドリンクを飲もうと用意すると、必ず同じ飲み物を欲しがりました。あまり子どもに良い飲み物ではないので、摂取量には気を配り、よく水で薄めて与えていました。

ある午後、私は炭酸のレモンライムドリンクを買ってきました。見かけは透明だったので、きっとダニエルは水だと勘違いするだろうと思いました。まず自分用にレモンライムドリンクをコップに注いだところ、予想通りダニエルは「自分も水が欲しい」と言いました。そこで私はキッチンへ行き、ダニエルのために水をコップに入れ始めました。ところが、その際に、ダニエルは自分で椅子に上がり、私の父のために用意してあったレモンライムドリンクを水だと思って飲み始めたのです。私はキッチンから戻って、水が入ったコップをダニエルに差し出したのですが、もう水は要らないと拒否されました。その代わりに、もっとレモンライムドリンクを欲しがりました。妻には「また作戦失敗ね」と言われました。

私たちは人生において重大な選択をしなくてはならない時があります。或る選択肢は私たちを豊かな人生へと導きますが、見せかけによって私たちを欺く選択肢もあります。箴言2:4~5では『銀のように、これを捜し、隠された宝のように、これを探り出すなら、そのとき、あなたは、主を恐れることを悟り、神の知識を見いだそう』と書かれています。物事のうわべに騙されることなく、本当に大切なこと(神からの知恵)を求めて参りましょう。

讃美歌 452

祈り 神様、いつも恵みを与えて下さり、ありがとうございます。一時的なものに流されず、本当に大切な御心に従えるよう助けて下さい。

イエス様の御名を通して祈り致します。アーメン。

ケニー・ウェストモーランド
テネシー州 セリナ

11月18日(土)

透明性 ～裏表のない態度～

聖書朗読 Iヨハネ 4:7～12

愛する者たち。私たちは、互いに愛し合ひましょう。愛は神から出ているのです。愛のある者はみな神から生まれ、神を知っています。 Iヨハネ 4:7

私の知り合いが、五カ月の家賃滞納でアパートから強制退去になったことを知った時、気持ちが沈みました。そしてもっと残念に思い困惑したことには、この出来事のちょうど1週間前、私たち夫婦はこの女性に家を貸す契約をしていたのです。最初彼女は勤勉な人に見えました。また責任感があり、正直な人のように面接の際には感じました。賃貸契約を結ぶ前に面接して、人となりを確認したつもりでした。信用照会のために、以前彼女が家を借りていた大家さんへ問い合わせもしたのですが、残念ながら正直な回答が得られていなかったようです。信用照会の結果は良好でしたが、それは真実ではなかったのです。

私は、人は皆それぞれ良い所があると思っています。しかし、残念ながら一部の人はごまかすことが得意で、私はそれに騙される時があります。

この経験は、自分自身を振り返る良いきっかけとなりました。私は自分自身に問いました。「キリストに自分自身を捧げる者として、私の生き方は証しになる生き方をしているだろうか？ それとも、自分自身を欺き、自分自身の欲に従って生きてしまっていないだろうか？」 私の歩みがどれだけ神を証しする生きし方になっているのかわかりませんが、一つ確かなことがあります。それは、神様は私の心の中も全てご存知で、私が御心に叶う歩みをする事が出来るよう喜んで助けて下さる、ということです。

讃美歌 352

祈り 親愛なる神様、あなたは私が罪びとであるにも関わらず愛して下さることに感謝します。あなたが私を愛して下さるように、私も他の人々を愛せるように助けて下さい。

イエス様の御名を通してお祈り致します。アーメン。

ジャネイ・ローレンス

テネシー州 ブラッシュ・クリーク

11月19日(日)

十字架に誇りを持つ

聖書朗読 Iコリント 1:20～25

しかし私には、私たちの主イエス・キリストの十字架以外に誇りとするものが決してあってはなりません。この十字架によって、世界は私に対して十字架につけられ、私も世界に対して十字架につけられたのです。 ガラテヤ 6:14

十字架を掲げるのは私たちにとって簡単なことです。沢山の教会の建物に十字架が掲げられています。また、沢山の人は十字架のネックレスやブローチを身につけています。今日のアメリカでは、十字架が意味するのは個人的な信仰心を示すことと、クリスチャンである意思表示だと思えます。

しかし、初期のクリスチャンたちは違いました。当時、十字架は単に処刑を示す印でした。ですから、礼拝所を十字架で飾ったり十字架を身に付けることは、(古代社会においては) 礼拝所に処刑道具を置いたり処刑道具を身に付けたりすることと同じでした。今日とは全く違う意味になるのです！ そこで当時のクリスチャンたちは、十字架ではなく魚のマークを、クリスチャンであることのシンボルとして使っていました。それは、イエスを指し示す五つのギリシア語の単語(イエス、キリスト、神の子、救い主)の頭文字を並べると「魚」の意味になるからです。魚のマークに加え、若い男性が羊を抱いている絵を使うこともありました。

このように、十字架をクリスチャンのマークとして用いることが消極的な古代社会において、パウロは十字架を誇りしたのです。『なぜなら、神の愚かさは人よりも賢く、神の弱さは人よりも強いからです』(Iコリント1:25)。そして『キリストの打ち傷のゆえに、あなたがたは、いやされたのです』(Iペテロ2:24)。

讃美歌 136

祈り 「この身とたまをとこしえまで、わが主のものとなさせたまえ。」(讃美歌136番4節後半)

イエス様の御名を通してお祈り致します。アーメン。

ステイーブン・レムリー
編集者